

## 見積参考資料

工事名 R6徳土 粟津港（松茂地区） 松・豊久 被覆防食工事（2）（  
担い手確保型）

### ◇経費情報◇

工種区分	構造物工事（港湾）
単価地区	徳島東部1
施工地域・工事場所	地方港湾（3）（一般交通の影響を受けない場合）
前金支出割合	補正を行わない
契約保証	金銭的保証
現場環境改善費	計上しない

### 注意

「見積参考資料」は入札参加者の迅速で適正な工事費の見積りのための一資料であり、請負契約を拘束するものではない。

本工事は、「担い手確保モデル工事（発注者指定型）」であり、4週8休の経費補正（担い手確保モデル工事実施要領参照）を計上している。

# 設計内訳書（本01）

工事名	R 6 徳土 粟津港（松茂地区） 松・豊久 被覆防食工事（2）（ 担い手確保型）	事業区分 工事区分	港湾整備 護岸・岸壁・物揚場				
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
護岸・岸壁・物揚場		式	1				
維持補修工		式	1				
防食工		式	1				
ペトログラム被覆		m2	256				単 1号
構造物撤去工		式	1				
撤去工		式	1				
モルタル被覆撤去		m2	233				単 2号
殻運搬処分		m3	12				単 3号
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
安全費		式	1				
安全対策	1日2名乗船	日	40				単 4号

# 設計内訳書（本01）

工事名	R 6 徳土 栗津港（松茂地区） 松・豊久 被覆防食工事（2）（ 担い手確保型）				事業区分 工事区分	港湾整備 護岸・岸壁・物揚場	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

# 1次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 1号	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	単価	摘要
	ペトラム被覆		m2	256		256		
	鋼管杭 足場設置撤去	57日	m2	585				単 5号
	下地処理(かき落とし)	鋼管杭	m2	256				単 6号
	被覆防食	鋼管杭	m2	256				単 7号
	端部処理	鋼管杭	m	111				単 8号
	合計							
	単価							円/m2

# 1次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 2号	モルタル被覆撤去		単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	土木一般世話役		人	10				
	潜水土		人	40				
	潜水連絡員		人	10				
	潜水送気員		人	10				
	軽油		L	250				
	空気圧縮機 3.5~3.7m3/min		日	10				
	溶接機 手動 D300A	海上	日	10				単 9号
	クレーン付トラック 4t積 2.9t吊		日	10				単 10号
	諸雑費		式	1				
	合計							
	単価							円/m2

# 1次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 3号	殻運搬処分		単位	m3	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬		コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 10.9km以下, 全ての費用		m3	1			
処分費(m3)				m3	1			単 11号
合計								
単価								円/m3

# 1次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 4号	安全対策	1日2名乗船	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件		単位	数量	単価	金額	摘要
安全監視船				日	1			単 12号
合計								
単価								円/日

# 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 5号	鋼管杭 足場設置撤去	57日	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	コンクリートアンカー 径16mm L=60mm		本	9				
	鋼製軽量足場板(1枚1日当り賃料) B=0.24m、L=4m		枚	14				
	鋼製軽量足場板(1枚当り基本料) B=0.24m、L=4m		枚	14				
	足場設置撤去(鋼管杭) クレーン抜き		m2	100				
	クレーン付トラック 4t積 2.9t吊		日	2.4				単 10号
	合計							
	単価							円/m2

## 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 6号	下地処理(かき落とし)	鋼管杭	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	かき落とし		m2	100				
	クレーン付トラック 4t積 2.9t吊		日	3.6				単 10号
	合計							
	単価							円/m2



# 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 7号	被覆防食	鋼管杭	単位	m2	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	防食材料 各種		m2	100				
	被覆防食(鋼管杭) クレーン抜き		m2	100				
	クレーン付トラック 4t積 2.9t吊		日	10.6				単 10号
	合計							
	単価							円/m2

## 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 8号	端部処理	鋼管杭	単位	m	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	端部処理(鋼管杭) クレーン抜き		m	100				
	クレーン付トラック 4t積 2.9t吊		日	5.5				単 10号
	合計							
	単価							円/m

# 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 9号	溶接機 手動 D300A	海上	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	軽油		L	21				
	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式] 最大溶接電流300A	機械条件: 運転日当り損料	日	1				
	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式] 最大溶接電流300A	機械条件: 供用日当り損料	日	1.65				
	合計							
	単価							円/日

# 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 10号	名称・規格	条件	単位	日	単価	金額	単価	摘要
	クレーン付トラック 4t積 2.9t吊					1		
	軽油		L	33				
	運転手(特殊)		人	1				
	トラック[クレーン装置付] ベストトラック4～4.5t積 吊能力2.9t	機械条件:運転時間当り損料	時間	5.8				
	トラック[クレーン装置付] ベストトラック4～4.5t積 吊能力2.9t	機械条件:供用日当り損料	日	1.23				
	合計							
	単価						円/日	

## 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 11号	処分費(m3)	条件	単位	m3	単位数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	処分費 無筋		m3	100				
	合計							
	単価						円/m3	

## 2次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 12号	安全監視船	条件	単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	安全監視船 FRP D 70PS型		日	1				単 13号
	合計							
	単価						円/日	

# 3次単価表

単価使用年月	2024.06
歩掛適用年月	2024.06
労務費補正	1.000-0000 0.0

単 13号	安全監視船 FRP D 70PS型		単位	日	単位数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	重油A		L	30				
	高級船員		人	1.2				
	普通船員		人	1.2				
	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT	機械条件: 運転日当り損料	日	1				
	交通船[FRP製] D 70PS型 3.0GT	機械条件: 供用日当り損料	日	1.65				
	合計							
	単価							円/日

# 機労材集計リスト（機械）

工事名	R 6 徳土 栗津港（松茂地区） 松・豊久 被覆防食工事（2）（担い手確保型）					
単価コード	名 称	規 格	単 位	数 量	金 額	摘 要
L301020010	空気圧縮機	3.5～3.7m <sup>3</sup> /min	日	23.3	33,785	
M000301005	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]	10t積級	供用日	0.416	8,599	
M301280000	交通船[FRP製]	D 70PS型 3.0GT	日	106	349,100	
M302670000	トラック[クレーン装置付]	ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	日	98.15	664,477	
M302670000	トラック[クレーン装置付]	ベーストラック4～4.5t積 吊能力2.9t	時間	462.822	271,214	
M303970000	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式]	最大溶接電流300A	日	61.745	46,083	
	合計額				1,373,258	

## 見積単価一覧表

工事名	R6徳土 粟津港(松茂地区) 松・豊久 被覆防食工事(2)(担い手確保型)			
名称	規格	単位	単価	備考
ペトロラタム被覆防食	鋼管杭 φ700用 保護材(FRPカバー他)防食材(ペトロラタム系)金具(ボルト・ナット他)	m3	70,800	
処分費	コンクリート殻(無筋)	m3	1,600	運搬距離 L=10.0Km
※以下は、週休2日補正として計上している金額の合計額を参考値として示したものです。				
直接工事費分	4週8休経費補正	式	994,652	
共通仮設費分	4週8休経費補正	式	162,400	







被覆防食工（ペトロラタム被覆） 計算書

対象範囲：ブロック1～7

代表1ブロック分で算出し、最後に7ブロック分を算出する。

1. ペトロラタム被覆防食

1-1. 既設コンクリート被覆撤去

	$\phi$ [m]	上端[m]	下端[m]	傾斜係数 1/cos $\theta$	本数	[m <sup>2</sup> ]
1列目：	$\pi \times 0.750$	$\times \{ ( +0.50 ) - ( -0.50 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
1列目：	$\pi \times 0.750$	$\times \{ ( +2.21 ) - ( -0.50 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
2列目：	$\pi \times 0.750$	$\times \{ ( +2.28 ) - ( -0.50 ) \}$		1.00	$\times 5$	$= 32.75$
3列目：	$\pi \times 0.750$	$\times \{ ( +2.35 ) - ( -0.50 ) \}$		1.00	$\times 5$	$= 33.58$
4列目：	$\pi \times 0.750$	$\times \{ ( +2.41 ) - ( +0.98 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
合計						<b>66.33</b>

※モルタル被覆の下端高はD. L. -0.5mである。

※0.750mは、モルタル被覆の内径（ $\phi$ 0.7m）と外径（ $\phi$ 0.8m）の平均

※4列目の下端高は、測線No. 1～No. 7において被覆石天端が最も低い高さ（D. L. +0.98）を採用した。

[m <sup>2</sup> ]	厚み[m]	[m <sup>3</sup> ]
66.33	$\times 0.05$	<b>3.32</b>

※ 既設コンクリートの厚みは50mmとして算出する。

1-2. かき落とし（素地調整）

	杭径 $\phi$ [m]	上端[m]	下端[m]	傾斜係数 1/cos $\theta$	本数	[m <sup>2</sup> ]
1列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +0.50 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
1列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.21 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
2列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.28 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 5$	$= 36.07$
3列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.35 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 5$	$= 36.84$
4列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.41 ) - ( +0.98 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
合計						<b>72.91</b>

1-3. ペトロラタム被覆防食

	杭径 $\phi$ [m]	上端[m]	下端[m]	傾斜係数 1/cos $\theta$	本数	[m <sup>2</sup> ]
1列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +0.50 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
1列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.21 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
2列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.28 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 5$	$= 36.07$
3列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.35 ) - ( -1.00 ) \}$		1.00	$\times 5$	$= 36.84$
4列目：	$\pi \times 0.70$	$\times \{ ( +2.41 ) - ( +0.98 ) \}$		1.00	$\times 0$	$= 0.00$
合計						<b>72.91</b>

※4列目の下端高は、測線No. 1～No. 7において被覆石天端が最も低い高さ（D. L. +0.98）を採用した。

1-4. 端部処理

		杭径 $\phi$ [m]		上下		本数		[m]
1列目 :	$\pi \times$	0.70	$\times$	2	$\times$	0	=	0.00
2列目 :	$\pi \times$	0.70	$\times$	2	$\times$	5	=	21.99
3列目 :	$\pi \times$	0.70	$\times$	2	$\times$	5	=	21.99
4列目 :	$\pi \times$	0.70	$\times$	2	$\times$	0	=	0.00
						<u>合計</u>	=	<b>43.98</b>

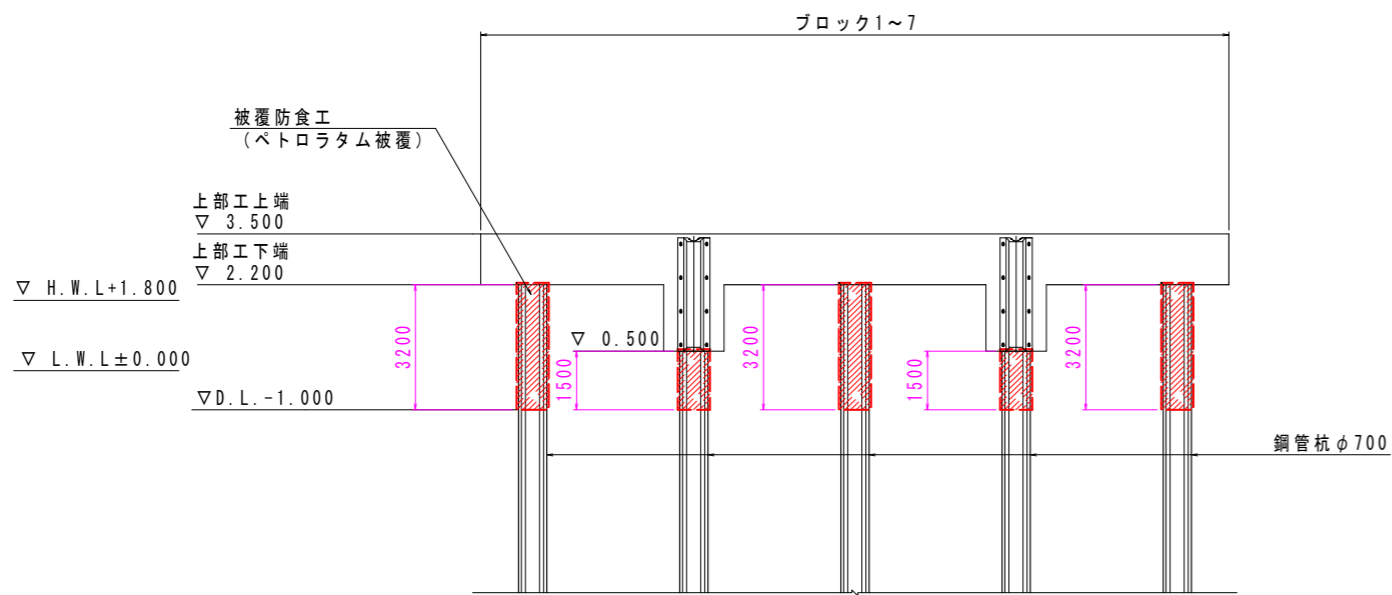
2. 数量表

工種	単位	小計 (1ブロック当り)	合計 (7ブロック分)
既設コンクリート被覆撤去	m <sup>2</sup>	66.33	<b>232.57</b>
かき落し	m <sup>2</sup>	72.91	<b>255.57</b>
ペトラタム被覆防食	m <sup>2</sup>	72.91	<b>255.57</b>
端部処理	m	43.98	<b>110.92</b>

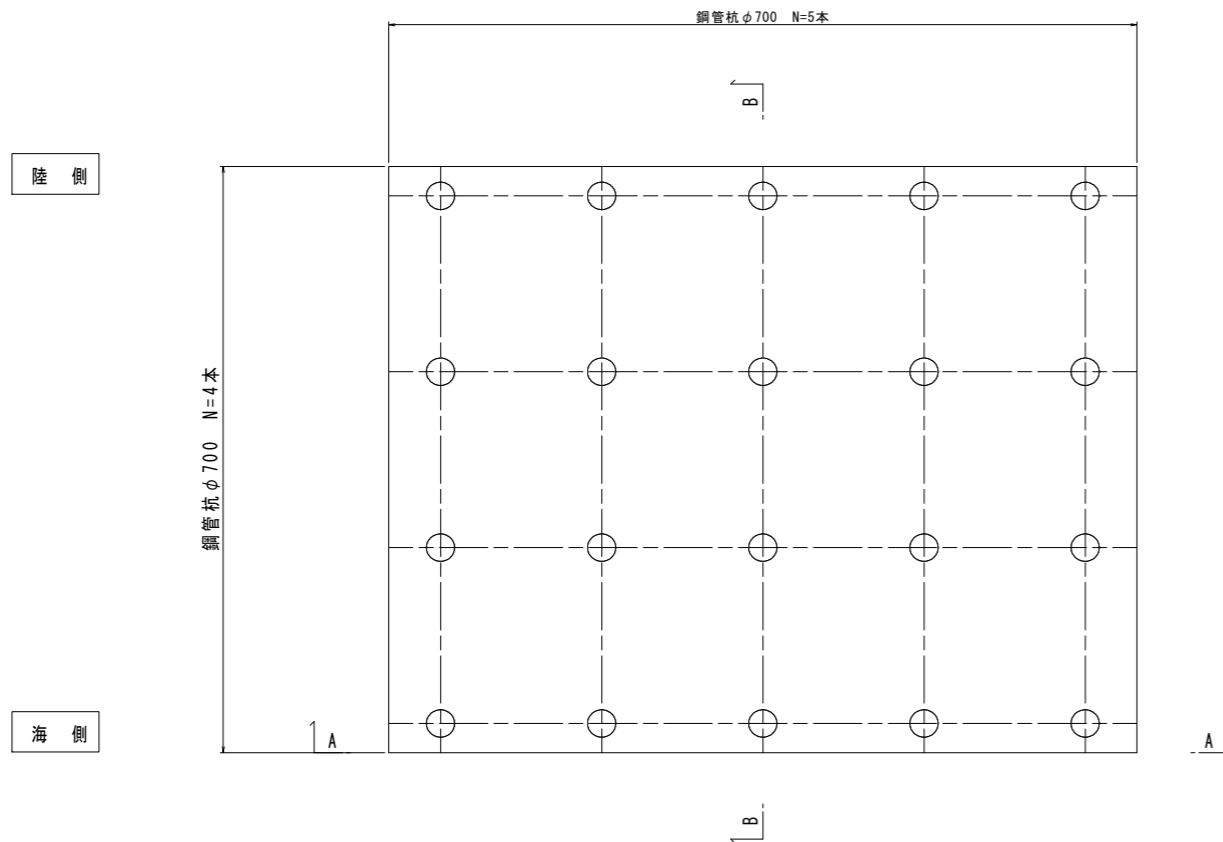
# 被覆防食工 数量算出根拠資料

## ブロック1~7

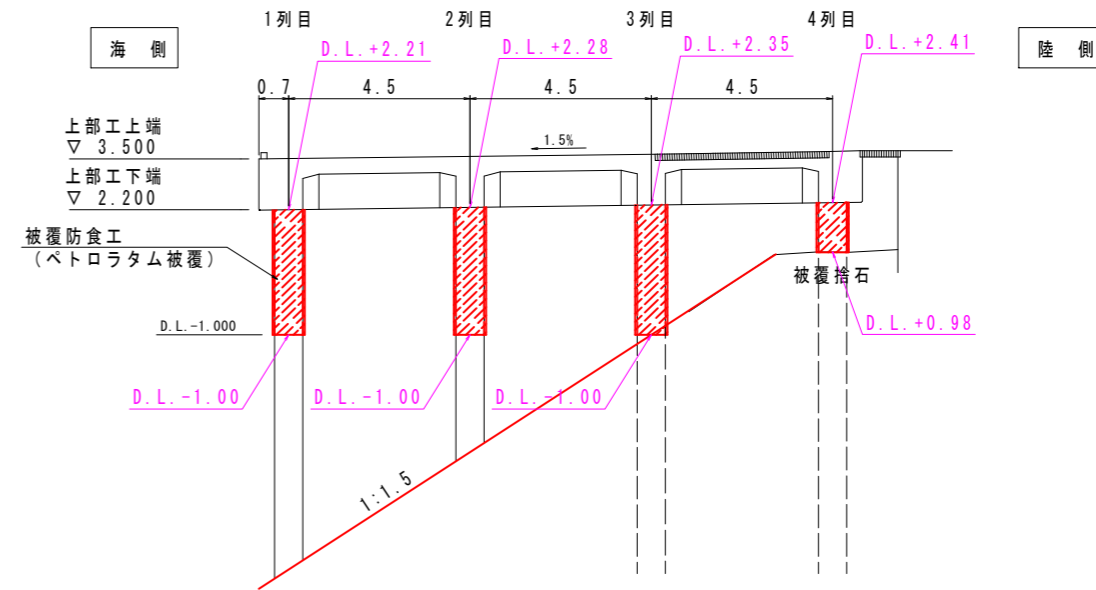
A-A断面図



平面図



B-B断面図



杭ごとの被覆防食工天端高

- ・ 1列目 :  $2.20 + 0.7 \times 1.5/100 = \text{D.L.} + 2.21$
- ・ 2列目 :  $2.20 + (0.7 + 4.5) \times 1.5/100 = \text{D.L.} + 2.28$
- ・ 3列目 :  $2.20 + (0.7 + 4.5 \times 2) \times 1.5/100 = \text{D.L.} + 2.35$
- ・ 4列目 :  $2.20 + (0.7 + 4.5 \times 3) \times 1.5/100 = \text{D.L.} + 2.41$

※エプロンの勾配1.5%は港湾台帳参照

杭ごとの被覆防食工下端高

- ・ 1列目 : D.L. - 1.00
- ・ 2列目 : D.L. - 1.00
- ・ 3列目 : D.L. - 1.00
- ・ 4列目 : D.L. + 0.98

※4列目の被覆防食工下端高は、測線No. 1~No. 7において被覆石天端が最も低い高さを採用した。

4列目の測線ごとの被覆石天端高

- D.L. + 1.11 (測線No. 1)
- D.L. + 1.09 (測線No. 2)
- D.L. + 1.09 (測線No. 3)
- D.L. + 1.04 (測線No. 4)
- D.L. + 0.98 (測線No. 5)
- D.L. + 1.04 (測線No. 6)
- D.L. + 1.02 (測線No. 7)



仮設工								
細 別	規 格	記号	計 算 式			単位	小 計	合 計
足場	設置・撤去		585 + 0.0			m <sup>2</sup>		585.0
			※標準部 + 取合部					
足場	設置・撤去							
標準部			18.57×4.5×1+18.57×9.0×3			m <sup>2</sup>	585.0	
			※7：ブロック1～ブロック7					
取合部			9.0×0.0			m <sup>2</sup>	0.0	

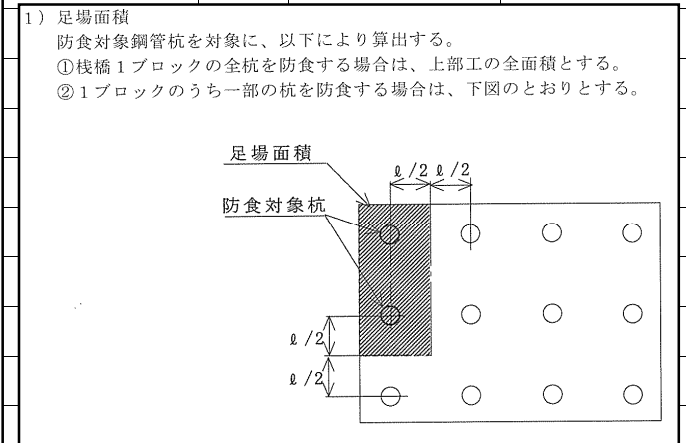
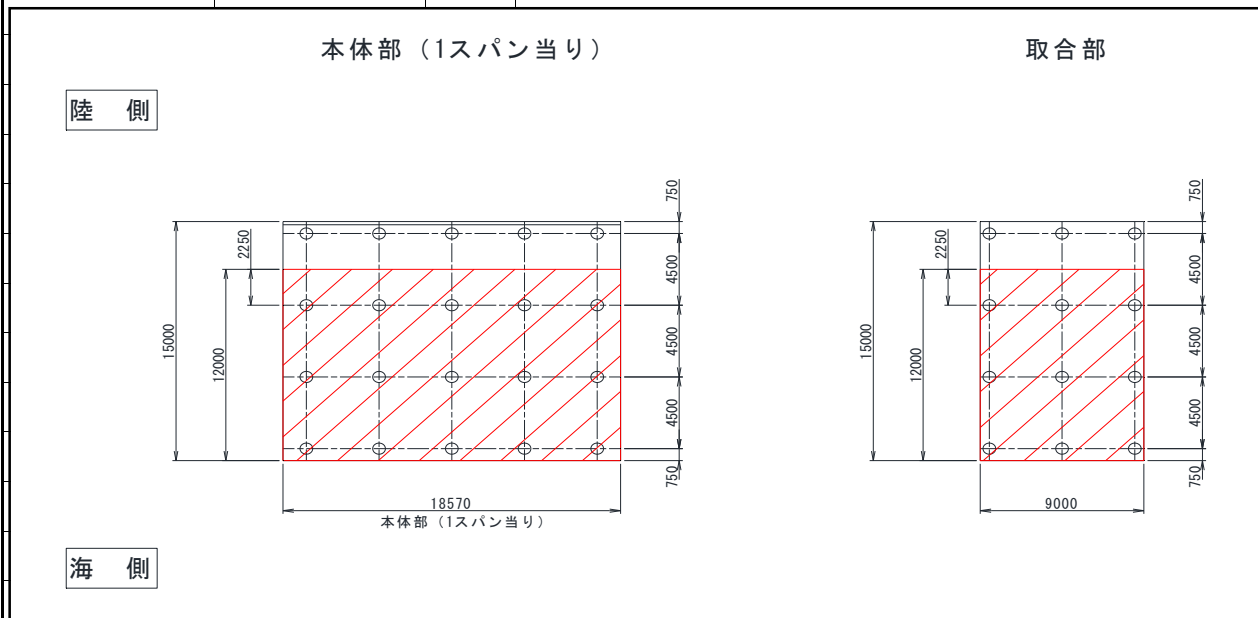


図 足場面積算出量根拠図

出典：「港湾土木請負工事積算基準(令和3年度改版)」P.3-14-(1)

図 足場面積の算出